

さいたま市立泰平小学校



# 学校だより

児童数：666名（男：327名、女：339名）

第450号 平成29年 5月 1日 発行

〒331-0801 さいたま市北区今羽町628

TEL 048-651-5637

FAX 048-651-4831

・ホームページ <http://taihei-e.saitama-city.ed.jp/>・Eメール [taihei-e@saitama-city.ed.jp](mailto:taihei-e@saitama-city.ed.jp)◎かしこく  
学びいっぱい◎なかよく  
笑顔いっぱい◎たくましく  
元気いっぱい◎心ゆたかに  
夢いっぱい

泰平っ子



## 安心して学ぶために

校長 玉川 徹

「ガラガラ」とドアを開けると、授業中なのにあいさつをしてくれる学級もあり、「がんばっているのに、もうしわけないなあ」と思いながらも、授業の様子を見に行かせてもらっています。新年度がスタートして3週間がたちました。一生懸命学習に取り組む子がたくさんいます。

教室の掲示物、そして一冊の本が紹介されているクラスがありました。

「教室はまちがうところだ」（蒔田晋治・作 長谷川知子・絵 子どもの未来社）



みんなどしどし手をあげて、まちがった意見・答えを言おう。

まちがうことをおそれちゃいけないし、まちがったものをわらっちゃいけない。

まちがった意見・答えをみんなで出しあい、ああじゃないのかなと考え言いあいながらほんとのものを見つけ、伸びていくのだ。安心して手をあげよう。安心してまちがおう。

というような内容です。最後に「そんな教室作ろうやあ」としめくくっています。

教室で活動していると、子どもたちはまちがったり失敗したりするものです。

そんなとき、友だちのまちがいや失敗を笑う、非難する、迷惑そうにする・・・そんなネガティブな言動があると、教室のムードはだんだん悪くなっていきます。「日本人は討論に慣れておらず、一度否定的な態度をとられると、発言することへのモチベーションが下がってしまう子が少なくない」と言われることがあります。失敗を恐れて、苦手なことには手を出さなくなり、活発さが失われます。お互いがけん制し合い、自由な意見が出にくくなります。大人の世界も同じようなことが言えるのではないのでしょうか。

学校や教室で子どもたちが安心して学ぶことができるということを考えると、「まちがったりいっぱいしたりしても大丈夫」という安心できる雰囲気を用意することは大切です。

- ・まちがったことは、やり直せばよい。
- ・友だちがまちがったり失敗したりしたら、「ここをこうすればよい」「こうしたほうがよかったね」というアドバイスを親切にしてあげればよい。
- ・自分に厳しく、人に優しく。
- ・誰かが失敗したときに誰かが笑ったら、クラスの中から「笑ってやるなよ！」という声が出る。
- ・本人がまちがいを笑い飛ばせる。



いずれにしても、それらは、学校の雰囲気、学級の雰囲気、私たち教師の働きかけ、大人の心がけにかかっています。お互いを認め合い、優しい雰囲気、安心して学び、生活できる環境を作っていく。すると子どもたちは勇気をもって積極的に発言したり行動したりするようになる。子どもたちの頑張りや、大人が本気で受け止めて、一人ひとりの発言、言葉、行動を共感的に受けて止めていきたいものです。

**安心して学び、笑顔いっぱい、元気いっぱい そんな泰平小作ろうやあ！**

\*学校だよりの巻頭文と毎月の全校朝会校長講話はできるだけ同じ内容にしています。ぜひ、ご家庭での共通の話題にしてみてください。